

特集 | 専門職の実践的力量を 形成していくために

看護界においても、制度改革、および教育改革が進んでいる。

その確かな手掛かりのひとつとして、実践の中での知の探究を軸とした新しい専門職のありかたとその教育を展望する、ショーンの提起が注目を浴びている。

本特集は、ショーンの『The Reflective Practitioner』の全訳が出版されたことをうけて行われた研究会（社会教育実践研究フォーラム：省察的实践とは何か）にヒントを得た。

看護専門職を省察的实践者として位置づけると、看護実践力の育成も生涯にわたって学び続けることの意味も、そこから見えてくるのではないか。看護教育の強みを生かしつつ、改革すべきはなにか、そのヒントになることを願っている。

新緑が一斉に山へと登る

